

2025 年 11 月 28 日

各位

会 社 名 日 東 紡

代表者名 取締役代表執行役社長 多田 弘行
(コード:3110、東証プライム)

問合せ先 上席執行役 梶川 浩希
(電話番号 03-4582-5040)

南亜塑膠工業股份有限公司との協業に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会で、南亜塑膠工業股份有限公司（本社：台湾 以下「南亜プラスチック」）との協業について決定いたしましたので、お知らせします。

当社は、近年の生成 AI 関連需要の急激な盛り上がりに伴うスペシャルガラスの旺盛な需要に対応するため、生産能力の拡充に注力してまいりました。今般、スペシャルガラスクロスの供給拡大をスピーディーに遂行するため、南亜プラスチックとの協業を決定いたしました。

ガラスクロス製造工程は、原料となるヤーン製造工程と、クロス加工工程（織布工程、処理工程）で構成されます。当社は、溶融炉の新規稼働や汎用ガラス用の溶融炉からの転用によりヤーン生産能力を着実に拡大しており、今後も継続して参ります。クロス加工工程においては、本年 8 月に福島事業センター内に生産設備を増設することを既に決定・公表しておりますが、この増設部分には主に処理工程設備を導入する予定です。加えて今般、南亜プラスチックに当社のスペシャルガラスクロス製造の織布工程の一部を委託することを決定いたしました。

南亜プラスチックは、台湾を代表する **Formosa Plastic Group** の一員であり、長い歴史と強固な事業基盤を持ちます。電子材料・プラスチック製品・化学品・ポリエステル製の 4 つの事業を手掛けており、ガラスクロス製造している電子材料事業においては、世界でも最大規模の生産能力を保有しております。当社の重要生産拠点である台湾において、ガラスクロス製造の歴史が長く、大規模かつ洗練されたリソースを持つ南亜プラスチックの織布製造能力を活用する一方、当社は、ガラスクロス品質を大きく左右するヤーン製造とクロス処理製造の能力増強に投資を集中させることで、スペシャルガラスの供給能力をスピーディーに拡大させてまいります。2027 年には、当社グループが供給するガラスクロス全体の 20%程度が南亜プラスチック製造の織布品になる予定です。

また、次世代低誘電ガラス（NER）について、従来はヤーンからクロスまで一貫生産して、ガラスクロスは CCL 各社に供給してまいりましたが、今般、南亜プラスチックの CCL ビジネス向けに絞って、NER ヤーンを南亜プラスチックに供給していく予定です。

当社はこれからも、スペシャルガラスの旺盛な需要に対応することで業容拡大を図り、電子材料分野における「グローバル・ニッチ No.1」の地位を確立すべく、一丸となって取り組んで参ります。

協業内容

協業先	会 社 名：南亜塑膠工業股份有限公司 所 在 地：No. 101, Shuiguan Rd., Renwu Dist.Kaohsiung City 814040, Taiwan (R.O.C.) 代 表 者：呉嘉昭 設 立：1 9 5 8 年
協業内容	スペシャルガラスクロスの織布製造
締結日	2 0 2 5 年 1 1 月 2 8 日

以上